

山行報告書

神戸勤労者山岳会

1. 参加者

CL/装備：矢古宇靖子、SL/会計：蔵本博一、記録：井谷竜治、気象：山本周作

2. 山城/ルート

北アルプス 黒部峡谷 下廊下

3. 交通手段

往路：夜行バス（さわやか信州号）

復路：トロッコ列車、富山地鉄本線、北陸新幹線、特急（サンダーバード） 他

4. 行動記録

<入山日 2018年10月20日（土）。下山日 2018年10月21日（日）>

第0日 10月19日（金）

阪急梅田バスターミナル 22：30→（さわやか信州号 4列シート）→

第1日 10月20日（土）

扇沢 6：18着 扇沢 7：30→（トロリーバス）→黒部ダム 7：46

黒部ダム 7：55→白雲峡 11：45→十字峡広場 12：40→半月峡 13：30→

東谷吊橋 14：15→関電人見平宿舎 14：35→阿曾原温泉小屋 15：20？

第2日

阿曾原温泉小屋 5：35→大太鼓 7：55→（水平歩道）→樺平 10：10？

樺平 10：43→（トロッコ鉄道）→宇奈月駅 12：02 →温泉入浴後→電車にて帰路

5. 山行中の問題点・事故に繋がる要因

a) 予定のルート・日程で行動出来たか？

予定ルートをはずれた場合、あるいは日程が異なった場合はその理由

・特になし

b) 事故に繋がりそうな要因（ヒヤリハット）が発生したか？ 発生した場合、具体的に記す

・矢古宇のみ、ヘルメットを持参していなかった。落石、転倒等の危険もあることから、ヘルメットは必携だった。なお、登山者の9割以上はヘルメット着用に見受けられた。

c) パーティーで、山行中の事故に繋がる要因につき、山行後検討したか？

・特になし

6. その他、ルートに関する情報・気がついた事など記す

・10/11には全面的（黒部別山谷～仙人谷ダム間）に登山道の整備が終了していた。登山道には雪渓も残っておらず、その点では歩きやすかった。

・経験豊富な井谷さんは、このような山行は初めて（夜行バス利用含めて？）とのことだった。山本さんも大昔に、とのこと。

・紅葉はちょうどいい感じで見頃だった。

・黒部ダムからの登山者は思った以上に多く、出遅れもあり、後ろの方となった。

・1日目の昼過ぎから雨が降り出した。登山道が滑りやすく、より慎重な歩きとなった。

- ・ 11 日、17 日、20 日と、続けて黒部峡谷で滑落死亡事故が起きていた。登山道は、普通の山道の他、岩沿いの幅の狭い部分も多く、針金やロープの導線が張られているところもある。岩、落ち葉で滑りやすい道なので、慎重な足運びが必要と感じた。
- ・ 紅葉の季節であり、小屋だけでなくテン場も一杯だった。最奥、登山口近くの若干斜めで岩ありのスペースになんとかテントを張ることができた。通路も、露天風呂下り道の途中のスペースも一杯だった。
- ・ 阿曾原温泉は奇数時間は女子、偶数時間は男子、20 時からは混浴となっていた。入浴待ちも多く、芋の子を洗う状態？だった。
- ・ 帰路、乗り継ぎの北陸新幹線の黒部宇奈月温泉駅は駅前に 1 件の食堂があるのみだった。

報告者氏名 矢古宇靖子 2018 年 10 月 23 日

紅葉は見ごろ？



こんな感じの道が---



S 字峡の溪谷美



遠くの山々は冠雪していた

